

水生植物刈取船運用委託業務仕様書

第1章 総則

1 適用

本仕様書は福島県（以下「甲」という。）が行う「水生植物刈取船運用委託業務」に適用する。

2 通則

本業務の実施にあたっては、本仕様書により実施するものとする。

3 目的

猪苗代湖に生育する水生植物のうち、近年繁茂面積を拡大しているヒシについて、甲が所有する水生植物刈取船（以下「刈取船」という。）を利用し、刈取りを行うことを目的とする。

4 契約期間

契約締結の日から令和6年3月31日まで

5 疑義

本業務の実施に当たり、仕様書等に明示なき事項がある場合又は疑義が生じた場合には、受託者（以下「乙」という。）は速やかに甲に申し出て協議するものとする。

6 打ち合わせ

打ち合わせの時期、回数については、業務開始時、業務実施中、成果品納品時の計3回行うものとするが、適正かつ円滑に事業を遂行するため、乙は適宜、甲と連絡を取りながら事業を実施するものとする。

7 安全管理等

乙は、業務履行に当たり、交通、気象、地域状況を十分把握し、作業員の人身事故はもとより第三者に危害を及ぼさないように関係法令の遵守及び安全管理に万全の措置を講じるものとする。

本業務に関して、刈取船や第三者に損害を与えた場合は、乙の責任において措置するものとする。

8 提出書類

乙は次の各号における書類を遅滞なく、甲に提出しなければならない。

- (1) 委託業務着手届（様式第1号）（契約締結後速やかに）
- (2) 主任技術者通知書（様式第2号）（契約締結後速やかに）
- (3) 作業工程表（任意様式）（契約締結後速やかに）

- (4) 委託業務完了届(様式第3号)(業務完了後、遅滞なく)
- (5) 結果報告書(任意様式)(業務完了後、遅滞なく)
- (6) その他業務遂行上必要と認められるもので、甲が指示したもの

9 委託料の支払い

本業務の委託料の支払いについては、次の各号に掲げる書類とする。

- (1) 水生植物刈取船委託業務契約書契約書第9条第1項に定める委託料の請求については、(様式第4号)のとおりとする。
- (2) 水生植物刈取船委託業務契約書第9条第4項に定める委託料概算払請求書については、(様式第5号)のとおりとする。
- (3) 水生植物刈取船委託業務契約書第9条第6項に定める委託料概算払精算書については、(様式第6号)のとおりとする。

第2章 業務の実施

10 業務内容

本業務は、ヒシの刈取りや運搬及びこれに付随する業務を行う。

実施時期は、猪苗代湖に生育するヒシが十分に成長した時期から枯死する前までの時期に行う(概ね7月から9月の間で45日間)。

実施場所は、ヒシが多く繁茂する猪苗代湖北岸(概ね松橋浜～高橋川河口付近)を想定しているが、業務開始前に甲が所有するドローンで繁茂状況を把握し、甲と協議したのち決定する。

ドローンの取扱いについての詳細は、甲と協議の上、決定する。

(1) ヒシの刈取り

刈取船でヒシを刈り取る。刈り取ったヒシは刈取船から水生植物運搬船(以下「運搬船」という。)に湖上で積み替えを行う。運搬船は陸揚げ場所(小黒川河口や天神浜を想定。)において、ラフタークレーン(以下「クレーン」という。)でモッコ(水生植物の受け網)ごと、陸揚げし、水生植物運搬車両(以下「運搬車両」という。)へ積み替える。

(2) ヒシの運搬、保管及びこれに付随する業務(保管場所を変更する場合にあっては、変更後の保管場所への運搬を含む。)

回収したヒシを県が指定する土地へ運搬し、運搬車のダンプアップにより荷下ろしを行うものとする。土地の使用に当たっては保管するヒシの飛散・流出等が生じないよう適正に維持管理を行う。

なお、契約期間中、別に定める要領に従いヒシの保管場所を点検し、飛散等の異常が確認された場合は速やかに処置を行うものとする。

10(1)、(2)を繰り返す。

(3) 結果の報告

乙は、10(1)、(2)の維持管理を除く業務を実施し、回収したヒシの量等の結果がまとまった時点で中間報告書を提出する。また、履行期限までに結果報告書(紙媒体(A4版カラー3部)のほか、電子データ(参考資料含

む。)を格納したCD-R等1枚)を甲に提出する。

(4) 環境学習への協力

刈取船に関して、猪苗代湖における環境学習の機会において、展示やデモ稼働等、甲の要請に協力する。

1.1 その他

(1) 刈取船、その付属品（モッコ等）及びドローンは県から貸与する。

それ以外の船舶や重機、物品、燃料等については、乙が準備する。また、作業に必要な資格を有した人員について、乙の責任で確保する。

(2) 甲より貸与した物品等について、適切な管理を行う。破損等した場合には乙の責任で原状復旧に努める。なお、経年劣化や摩耗など適切な使用で生じたものについては、その限りではない。

(3) 業務実施に当たり、日常の点検を作業開始前や後に実施する。その際、作業日報を作成し、最終的には結果報告書に添付する。また、日常点検での対応が難しいと判断される事象が生じた場合、速やかに甲に連絡するとともに、甲の指示に従い、適切に対応する。

(4) 業務実施に当たり、(1)に記載した資格等に関するものを除き、必要な手続き（保管場所の賃借、法令の届出や許認可等）は甲が行う。また、業務実施に当たり、新たに必要な手続きが生じた場合、甲に連絡し、協議の上、対応する。

(5) 刈取船の一般的な取扱い（刈取船の操縦やヒシの刈取り、刈取船の日常点検等）に関して、甲が実施する研修を受講する。

(6) 本仕様書に記載されていない事項であっても、業務遂行に当たり必要な事項については、甲と相談の上、乙の責任の下で充足する。

第1号様式

令和 年 月 日

福島県知事 様

受注者 住 所
名 称
代表者

印

委託業務着手届

令和 年 月 日付けで契約を締結した下記委託業務について着手したので、届け出ます。

記

1 委託業務の名称

水生植物刈取船運用委託業務

2 契約金額

円

(うち、取引にかかる消費税及び地方消費税額 円)

3 委託の期間

着 手 令和 年 月 日

履行期限 令和 年 月 日

4 着手年月日

令和 年 月 日

第2号様式

令和 年 月 日

福島県知事 様

受注者 住 所
 名 称
 代表者

印

主任技術者通知書

令和 年 月 日付けで契約を締結した下記委託業務について、委託契約書第4条に基づき主任技術者を下記のとおり定めましたので、通知します。

記

- 1 委託業務の名称
 水生植物刈取船運用委託業務
- 2 氏 名
- 3 生年月日
- 4 住 所
- 5 主任技術者が常駐する場所
- 6 地位・職名等

第3号様式

年 月 日

福島県知事 様

受注者 住 所
名 称
代表者

印

委託業務完了届

令和 年 月 日付けで委託契約を締結した業務について、下記のとおり完了したので、
成果品を添えて報告します。

記

1 委託業務の名称

水生植物刈取船運用委託業務

2 契約金額

円

(うち、取引にかかる消費税及び地方消費税額 円)

3 委託業務の着手及び完了年月日

着 手 令和 年 月 日

完 了 令和 年 月 日

4 成果品等

第 4 号様式

年 月 日

福島県知事 様

受注者 住 所
名 称
代表者 印

_____業務委託料請求書

令和 年 月 日付けで契約を締結した上記委託業務について、委託契約書第 9 条第 1 項の規定により、下記のとおり請求します。

記

1	請求金額	金	円
	業務委託料の額		円
	既受領額		円
	今回請求額		円
	未請求額		円

第5号様式

年 月 日

福島県知事 様

受注者 住 所
名 称
代表者

印

業務委託料概算払請求書

令和 年 月 日付けで契約を締結した上記委託業務について、委託契約書第9条
第4項の規定により、下記のとおり請求します。

記

1 請求金額 金 円

内訳

契約金額	受領済額	今回請求額	残額	備考

第 6 号様式

年 月 日

福島県知事 様

受注者 住 所
名 称
代表者

印

業務委託料概算払精算書

令和 年 月 日付けで契約を締結した上記委託業務について、委託契約書第 9 条
第 6 項の規定により、下記のとおり精算します。

記

1 精算金額 金 円

概算払交付金額	実績額	過不足額	備考

*過不足額欄は、概算払交付金額から、契約金額又は実績額のいずれか低い額を差し引いた額を記載すること。

(添付書類)

- ・実績額の内訳が確認できる書類（委託業務に係る収支決算書等）